



みいつの夜は神から人へのり物です。しかしみいつの夜がいつなのかは、分かっていません。言者の教友からのによれば、言者がラマダンの月の27日がみいつの夜だとほめかしていたと言っています。しかし同に多くの者たちが、ラマダンの半3分の1の奇数の夜の内のどれかが、みいつの月だと言っていたとしています。言者ムハンマド（彼の上に神の慈悲と祝福あれ）の教えによれば、ムスリムはラマダンの月の21日、23日、25日、27日と29日に礼と善行を行い、みいつの夜をつけるようにすべきだとされています。一部のムスリムはそれらの夜に夜で礼や善行を行いますが、言者ムハンマドと彼の教友たちは少なくとも、夜の3文の1は眠っていたとされています。

あるのムスリム国家ではラマダンの月27日は休日とされ、人々が夜の礼のあと休めるようにしています。また学校はラマダンの月の27日からシャウワルの月の2日目まで、みいつの夜とイドアル=フィトル（ラマダンのわりに始まるイスラムの祭日）のために休みとなります。

## イアティカフ（おり）

言者ムハンマドのわしは、ラマダンの最の10日をモスクで過ごすことでした。これによって、近くのモスクにおりすることは崇行とされています。おりしている人々は々なズィクル（神を思うこと）をしてごします。例えば礼やクルアンの勉や朗、ハディス（言者ムハンマドの言行）の勉をし、神と彼の言者にいつつ、お互いを高め合うのです。おりする人々は急の合を除いて外に出る事はされていないので、モスクで眠り、モスクの施を使用します。

おりしている人々の食事は、彼らの家族や共同体の人々が用意します。大方の合、おりは新月がされたとき、あるいはラマダンの月の最日にわります。忙しい人々には1のみ、1日のみ、または2、3日といった短いおりもされています。

## サダカトル=フィトル

大方、者、また助けを求める人々に する物 的援助はサダカと呼ばれます。サダカトル =フィトルはザカ トル=フィトルとも呼ばれ、イ ドの礼 の前に集められる 者への 的援助です。 者たちがイ ドを祝えるほどの援助をするのが好まれています。北アメリカ大 では5ドルから8ドルの食物が、幼 も含め家族全 からそれぞれ出されます。

## イ ドル=フィトル

断食の月の わりはラマダ ン月のあとのシャウワ ル月（イスラ ム の10月）の始めに祝われます。ラマダ ンの29日、日没 に人々は西方の地平 に新月を しにいきます。三日 月が されれば、ラマダ ンの わりが 表されます。もし三日月が されなければ、ラマダ ンはもう一日延びます。

イ ドの日には人々は朝早くシャワ を浴び、朝食を食べ、彼らの持っている服の中で最高のもを着て、香水をつけて、イ ドの集 礼 が行われる 所にタクビ ラ トを言いながら向かいます。タクビ ラ トとは「神は 大である。神以外に崇 すべきものはなく、すべての は神のものである。」と言う事です。ムスリムたちは、イマ ムと呼ばれる先 者を待っている、彼らの家で、道で、集 礼 の 所でタクビ ラ トを言います。 けた土地でイ ドの集 礼 を行うのが 言者ムハンマドの わしでした。言者ムハンマドに う者たちは けた土地で集 礼 を行うように教えられています。しかし北アメリカ大 のムスリムたちはホル やホテルを りて礼 を行います。

イマ ムが定められたときに礼 を先 し、 教を行います。この 教の最 に、人々は祈り、あいさつや抱 を交わし、ラマダ ンの わりを祝い、神に彼らの努力が受け入れられること を います。

この日に人々はお互いを ね、子どもたちはプレゼントを います。人々がピクニックやパ ティ に出かける国もあります。イ ドの祭典が仕事 やその他の 所で かれることもあります。イ ドは神への感 と家族や友 に会いに行く日なのです。

## ラマダ ン中のウムラ（小巡礼）

言者ムハンマドが、ラマダン中にウムラを行うとハッジ（大巡礼）を行ったのと同じとされると言った があります。ハッジは 言者アブラハム（彼の上に平安あれ）と彼の妻ハジャル、そして彼の 男イスマエルが受けた と苦 を体 化したものです。ハッジには 5日 かかりますが、ウムラは2、3 で わります。ウムラはハッジの中のほんの一部なのです。ウムラの最 には 物の屠畜も行われます。ウムラはどの 期に行われても良いのですが、ラマダ ンの に行われるウムラは特 なのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/628>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。